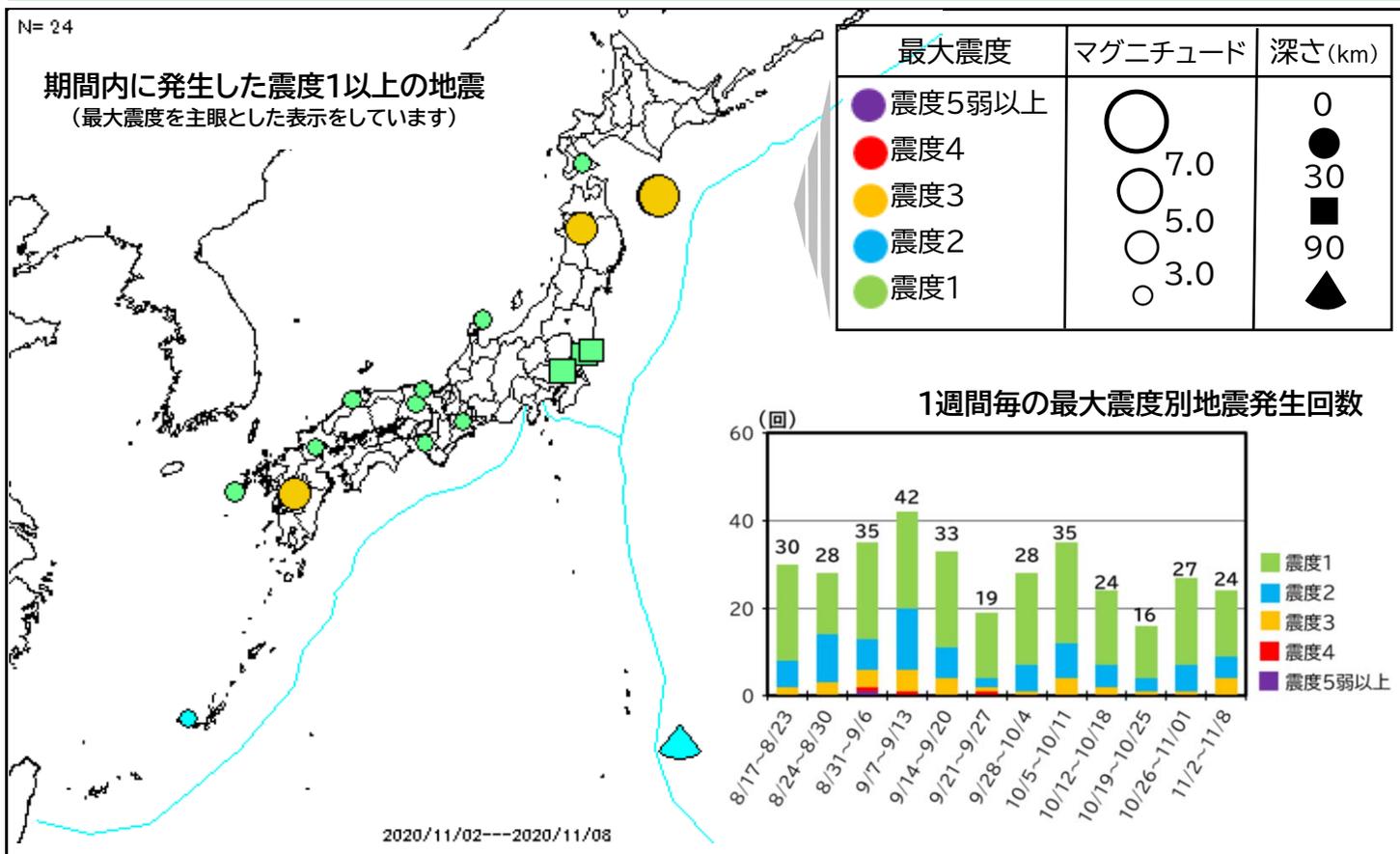


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が24回発生。最大震度は3 ■
- ・3日06時40分に熊本県熊本地方で発生した地震(M3.0、深さ6km)及び同日10時29分に発生した地震(M3.3、深さ6km)により、熊本県宇土市及び宇城市で震度3を観測。共に、平成28年(2016年)熊本地震の余震域内で発生しているもの。
- ・6日04時51分に秋田県内陸北部(北秋田市の森吉山付近)で発生した地震(M4.2、深さ6km)により秋田県北秋田市で震度3、能代市や仙北市で震度2を観測。この地震は地殻内で発生した横ずれ断層型。この地震を含め、同日に最大震度3、2、1が各1回、合計3回発生した。この付近では東北地方太平洋沖地震の発生後、まとまった地震活動が見られるようになっている。
- ・6日17時56分に青森県東方沖で発生した地震(M5.7、深さ17km)により八戸市、むつ市、函館市などで震度3を観測。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。この地震の震央周辺は、1968年十勝沖地震(M7.9、最大震度5)が発生するなど地震活動が活発なところ。

トピックス

■ ギリシャ・トルコ国境の地震 ■

- ・10月30日20時51分(日本時間)にトルコ国境に接するギリシャのサモス島沖でM7.0の地震が発生し津波も発生した(図の赤丸は米国地質調査所(USGS)による10月30日以降に発生したM4以上の地震)。
- ・地震と津波により、トルコとギリシャで少なくとも115人の犠牲者が出ている(REUTERS)。
- ・この地震は、ユーラシアプレート(西日本と同じプレート)内で発生した正断層型の浅い地震。
- ・この周辺は小さな島や半島が入り込んでおり津波が高くなりやすい地形。
- ・この周辺では中程度から大規模な地震が頻繁に発生しており、今回の地震から250km以内の地域では、過去100年間に29回のM6以上の地震が発生している(USGS)。
- ・この周辺で観測された最大の地震は、1956年7月に発生したM7.7の地震であり、津波が発生し、死者53名、負傷者100名の甚大な被害が発生している(USGS)。

